



<問い合わせ先>

北海道運輸局 観光部次長 山崎（貴）

国際観光課 田尻・福田

TEL : 011-290-2723

令和5年8月7日

北海道運輸局

北海道における宿泊旅行統計調査をまとめました。

（令和4年年間値（確定値）及び令和5年1-3月期（暫定値））

- ・北海道運輸局では、北海道における宿泊旅行者の動向や実態を把握することを目的として、観光庁が実施している「宿泊旅行統計調査」をもとに、北海道における宿泊旅行統計調査をまとめ、あわせて全国との比較をとりまとめております。
- ・観光庁が実施した調査結果については、以下のURLからご覧下さい。（観光庁HP）

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

■ 令和4年年間値（確定値）

北海道における令和4年年間値（確定値）の主な特徴

【延べ宿泊者数】

約2,917万人泊。令和3年比53.0%増、令和2年比36.0%増、令和元年比21.1%減。
都道府県別順位では全国第3位。（令和3年年間値 第2位）

【外国人延べ宿泊者数】

約86万人泊。令和3年比1196.0%増、令和2年比58.2%減、令和元年比90.3%減。
都道府県別順位では全国第4位。（令和3年年間値 第11位）

【国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数順位】（括弧内は外国人延べ宿泊者数全体に占める割合）
第1位が韓国（19.0%）、第2位が香港（12.2%）、第3位が台湾（11.7%）。

1. 延べ宿泊者数

【延べ宿泊者数】

- ・全国は約4億5,046万人泊、北海道は約2,917万人泊（全国の6.5%）。

【延べ宿泊者数の前年等比較】

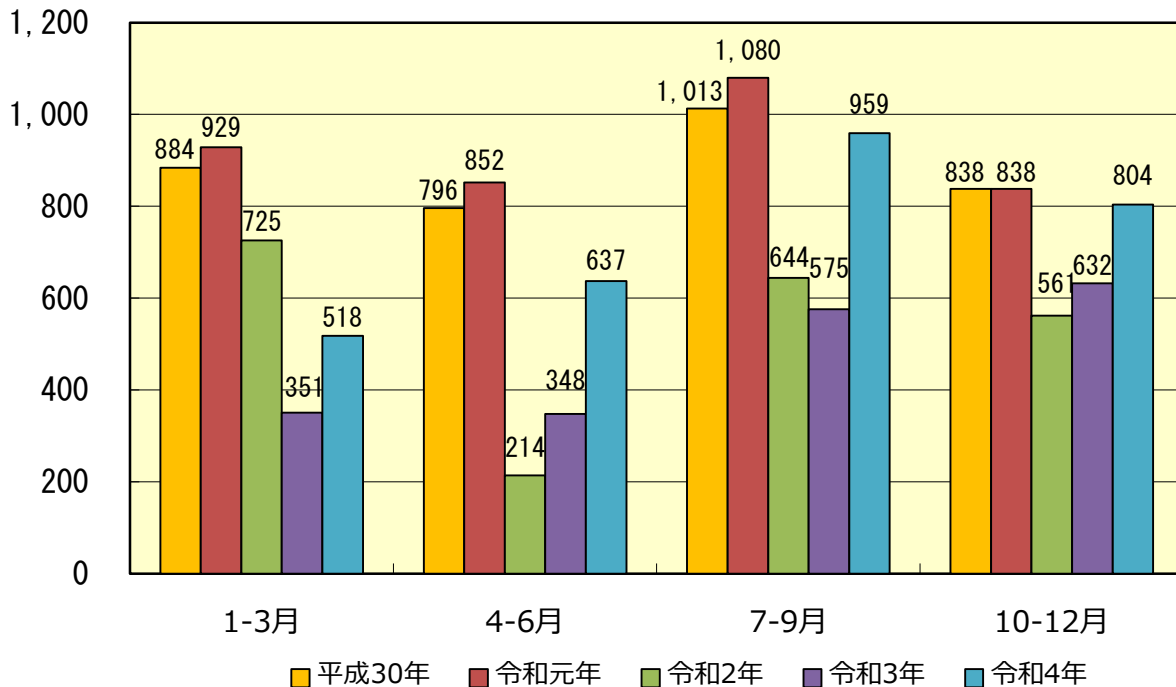
- ・全国は令和3年比41.8%増、令和2年比35.8%増、令和元年比24.4%減。
北海道は令和3年比53.0%増、令和2年比36.0%増、令和元年比21.1%減。
- ・全国旅行支援など国内旅行需要が喚起されたことで、令和4年の延べ宿泊者数は全国及び北海道ともに令和3年を上回る結果となったものの、コロナ禍前の令和元年年間値までの回復には至っていない。

【都道府県別延べ宿泊者数】

- ・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（令和3年は第2位）。

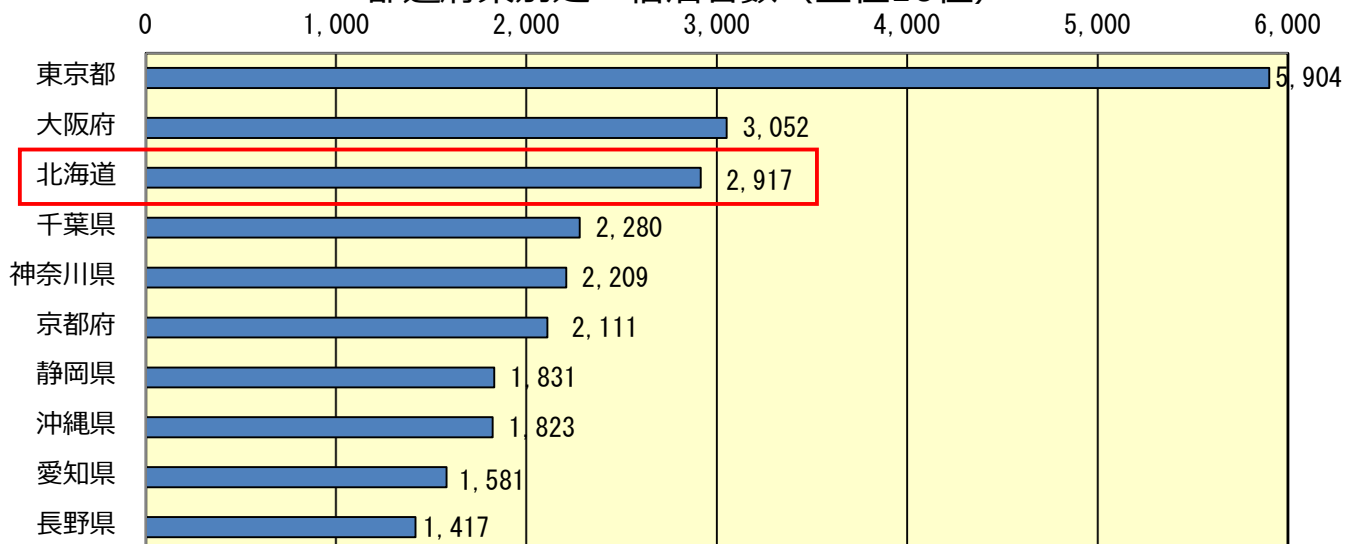
（単位：約万人泊）

延べ宿泊者数の推移（北海道）



（単位：約万人泊）

都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）



2. 外国人延べ宿泊者数

[外国人延べ宿泊者数]

・全国は約1,650万人泊、北海道は約86万人泊（全国の5.2%）。

[外国人延べ宿泊者数の前年等比較]

・全国は令和3年比282.3%増、令和2年比18.9%減、令和元年比85.7%減。

北海道は令和3年比1196.0%増、令和2年比58.2%減、令和元年比90.3%減。

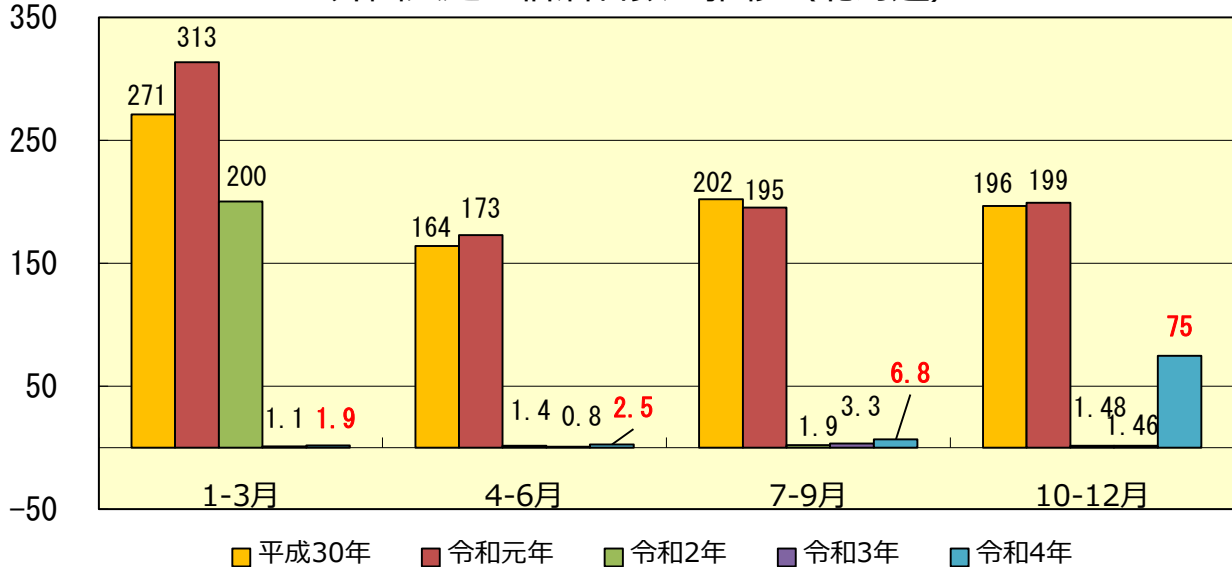
・令和4年10月の水際措置の大幅緩和以降急速に回復し、令和4年は全国及び北海道ともに令和3年を上回る結果となったが、コロナ禍前の令和元年年間値までの回復には至っていない。

[都道府県別外国人延べ宿泊者数]

・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は京都府、北海道は第4位（令和3年は第11位）。

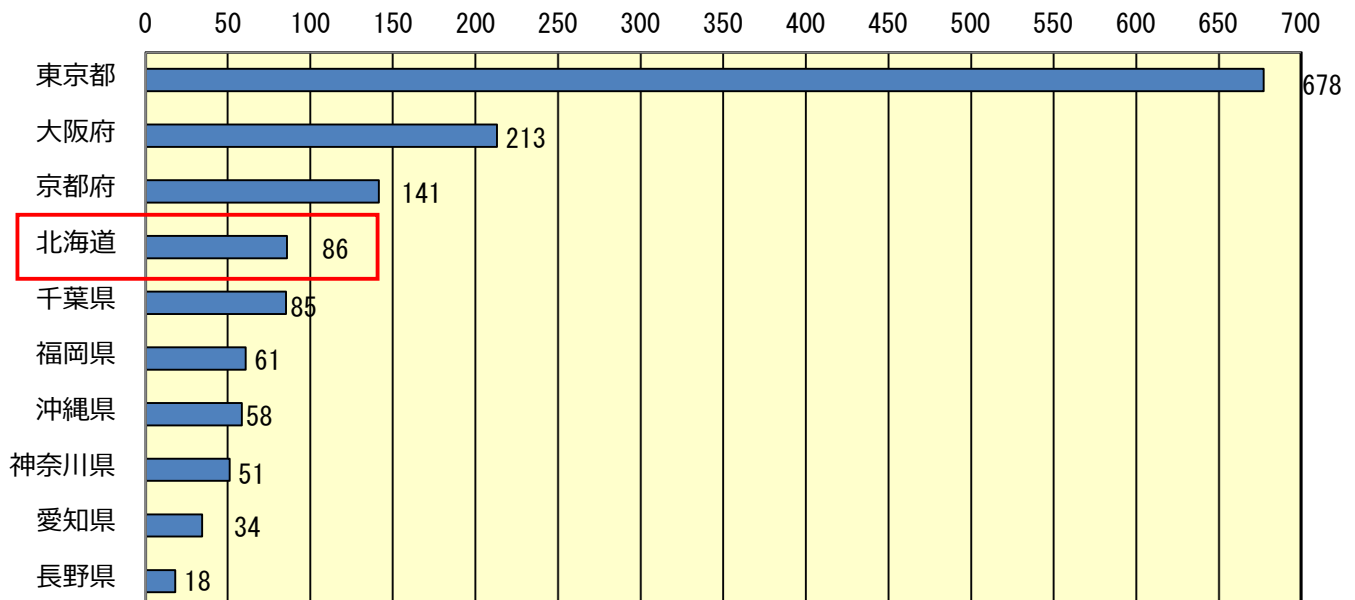
(単位：約万人泊)

外国人延べ宿泊者数の推移（北海道）



(単位：約万人泊)

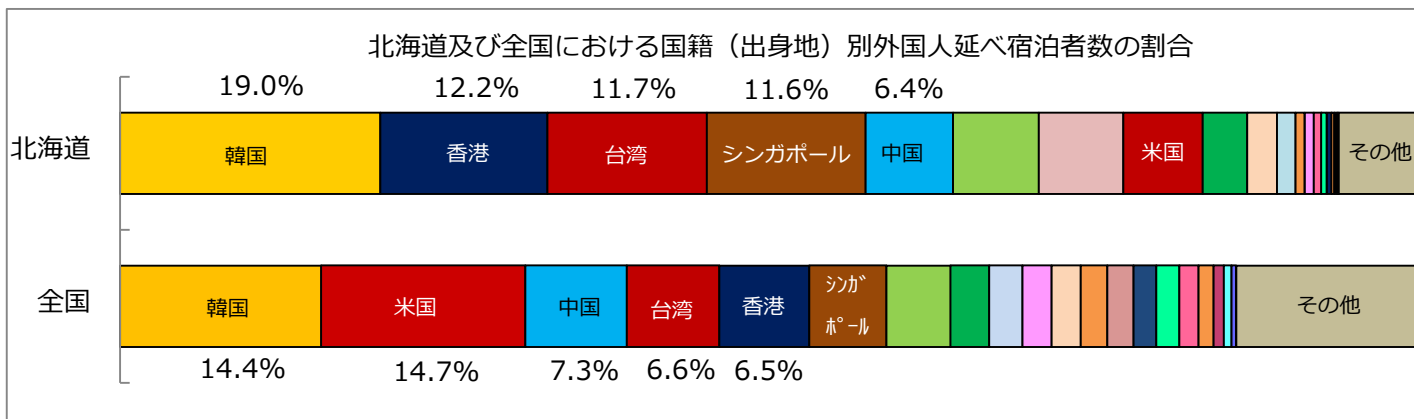
都道府県別外国人延べ宿泊者数（上位10位）



3. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数

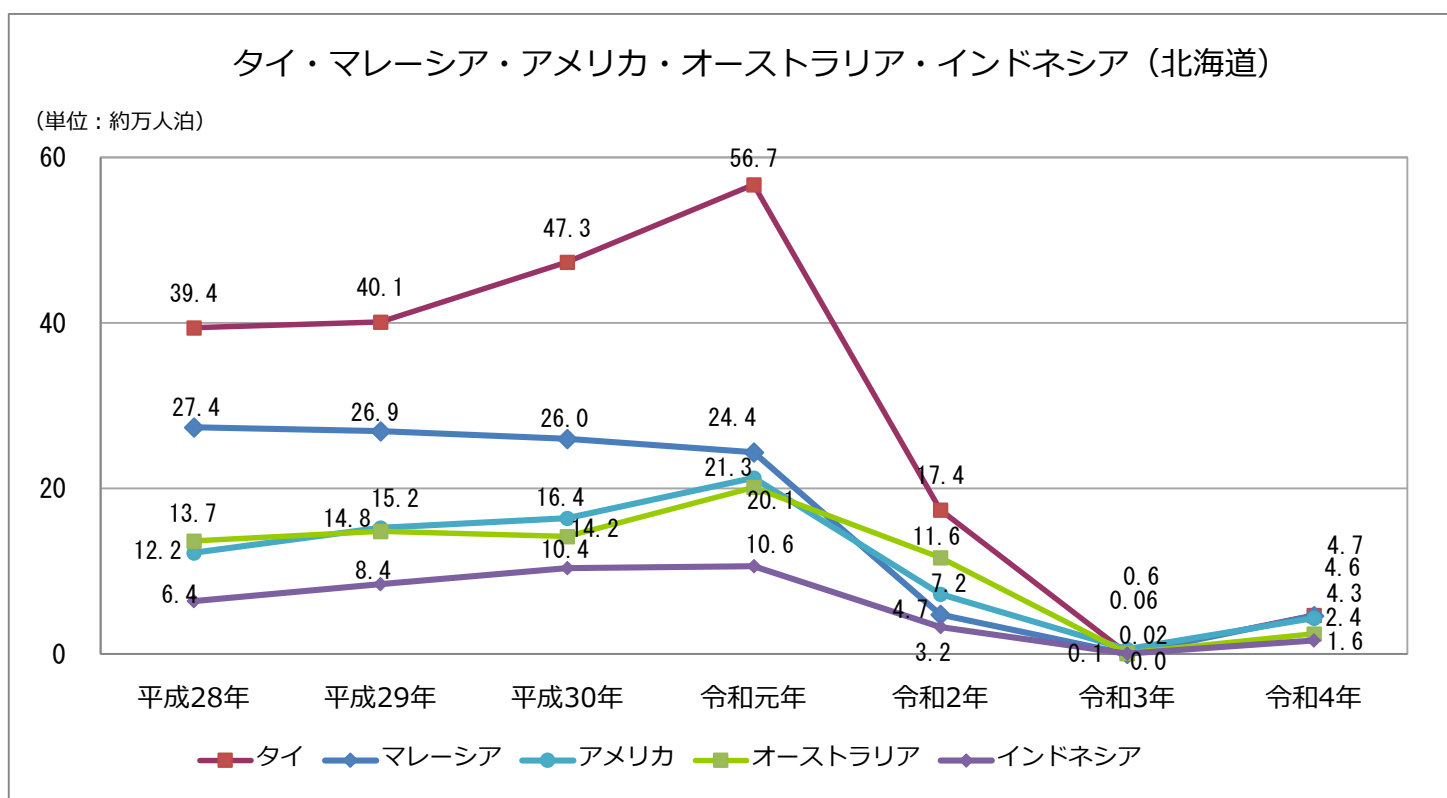
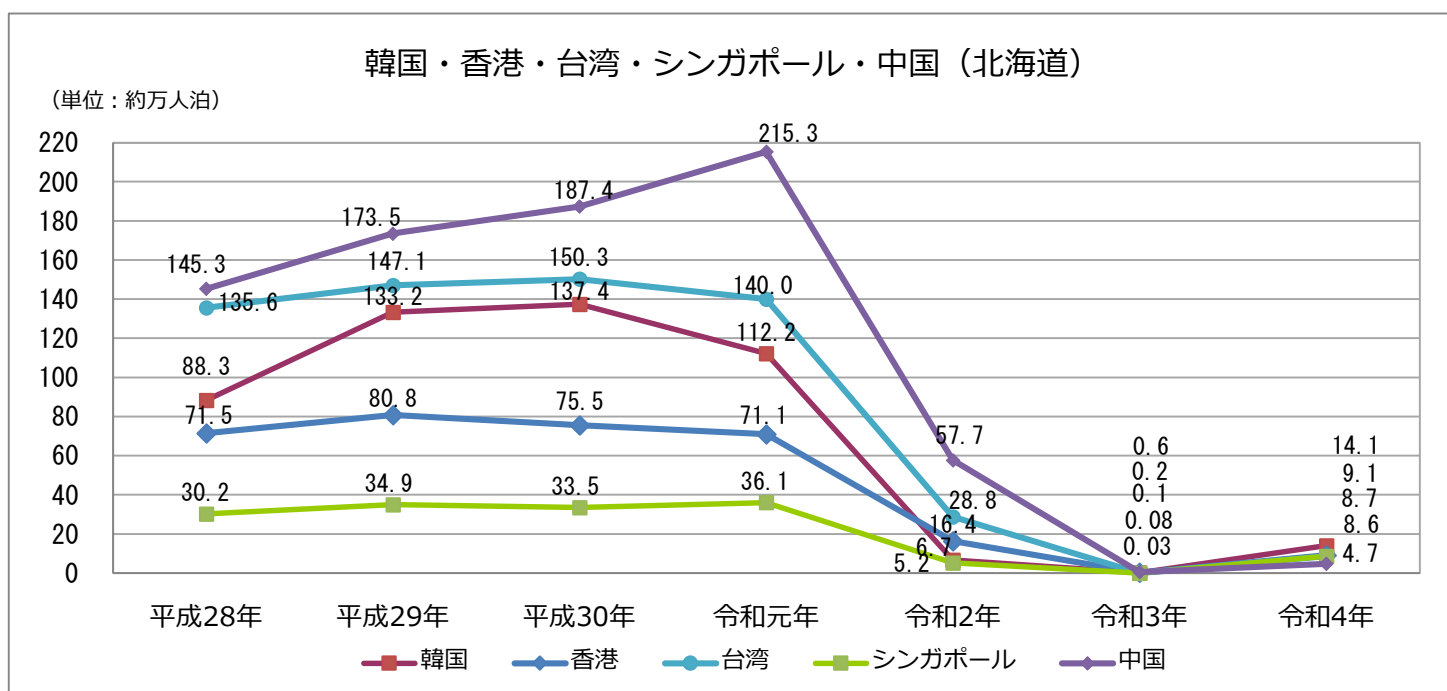
・北海道における令和4年の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は741,740人（令和元年同期比90.7%減）で、第1位が韓国、第2位が香港、第3位が台湾の順になっている。

順位	国籍	北海道		全国	北海道 令和元年同期比
		(人泊)	シェア	シェア	
1	韓国	141,110	19.0%	14.4%	-87.3%
2	香港	90,620	12.2%	6.5%	-87.7%
3	台湾	86,610	11.7%	6.6%	-93.9%
4	シンガポール	86,110	11.6%	5.5%	-76.4%
5	中国	47,450	6.4%	7.3%	-97.8%
6	タイ	46,530	6.3%	4.6%	-91.6%
7	マレーシア	45,840	6.2%	1.9%	-81.1%
8	アメリカ	43,080	5.8%	14.7%	-79.5%
9	オーストラリア	24,130	3.3%	2.8%	-89.5%
10	インドネシア	16,190	2.2%	2.1%	-84.5%
11	フィリピン	10,010	1.3%	2.4%	-89.0%
12	イギリス	4,980	0.7%	1.9%	-89.5%
13	ベトナム	4,950	0.7%	2.1%	-62.1%
14	カナダ	4,090	0.6%	1.4%	-86.8%
15	ドイツ	2,920	0.4%	1.6%	-83.4%
16	フランス	2,640	0.4%	1.6%	-84.3%
17	インド	1,560	0.2%	1.1%	-80.8%
18	イタリア	850	0.1%	0.7%	-84.7%
19	ロシア	810	0.1%	0.3%	-97.1%
20	スペイン	690	0.1%	0.6%	-86.4%
	その他	45,140	6.1%	13.3%	-88.5%
	国籍不詳	35,430	4.8%	6.5%	-81.7%
	合計	741,740	100.0%	100.0%	-90.7%



※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計しているため、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は外国人延べ宿泊者数の数値と一致しない。

4. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数の上位10カ国の推移



※国籍別延べ宿泊者数の合計値は、国籍不詳を含んでいる。

■令和5年1-3月期（暫定値）

【北海道における令和5年1-3月期（暫定値）の主な特徴】

【延べ宿泊者数】

約850万人泊。令和4年同期比64.1%増、令和元年同期比8.5%減。

都道府県別順位では全国第3位。（前年同期 第2位）

【外国人延べ宿泊者数】

約173万人泊。令和4年同期比9165.7%増、令和元年同期比44.9%減。

都道府県別順位では全国第3位。（前年同期 第9位）

【国籍別外国人延べ宿泊者数順位】

（括弧内は外国人延べ宿泊者数全体に占める割合）

第1位が韓国（23.7%）、第2位が台湾（21.2%）、第3位が香港（10.1%）。

【宿泊施設稼働率】

1月、2月における宿泊施設全体での定員稼働率及び客室稼働率が全国平均を上回っている。

一方で、3月における宿泊施設全体での定員稼働率及び客室稼働率は全国平均を下回っている。

1. 延べ宿泊者数

【延べ宿泊者数】

- ・全国は約1億3,131万人泊、北海道は約850万人泊（全国の6.5%）。

【延べ宿泊者数の前年等比較】

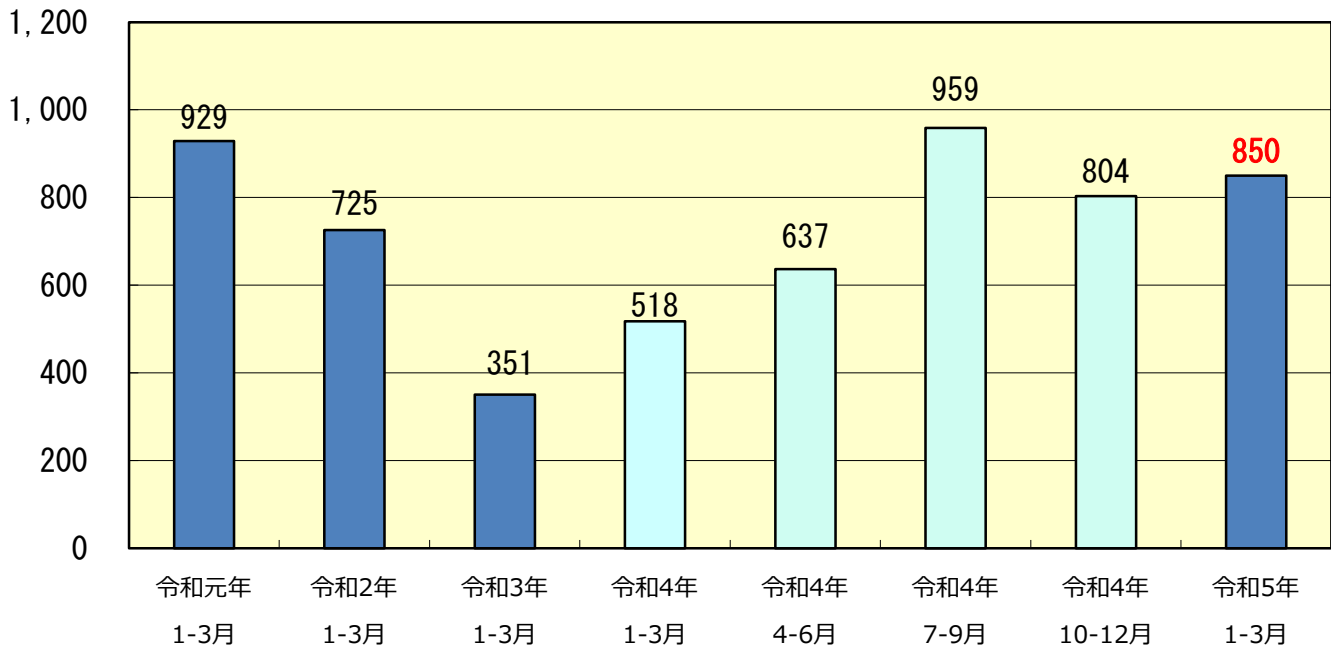
- ・全国は令和4年同期比56.4%増、令和元年同期比4.4%減。
北海道は令和4年同期比64.1%増、令和元年同期比8.5%減。
- ・令和5年1～3月期の延べ宿泊者数は、全国及び北海道ともにコロナ禍前の令和元年同期値までの回復には至っていない。

【都道府県別延べ宿泊者数】

- ・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（前年同期 第2位）。

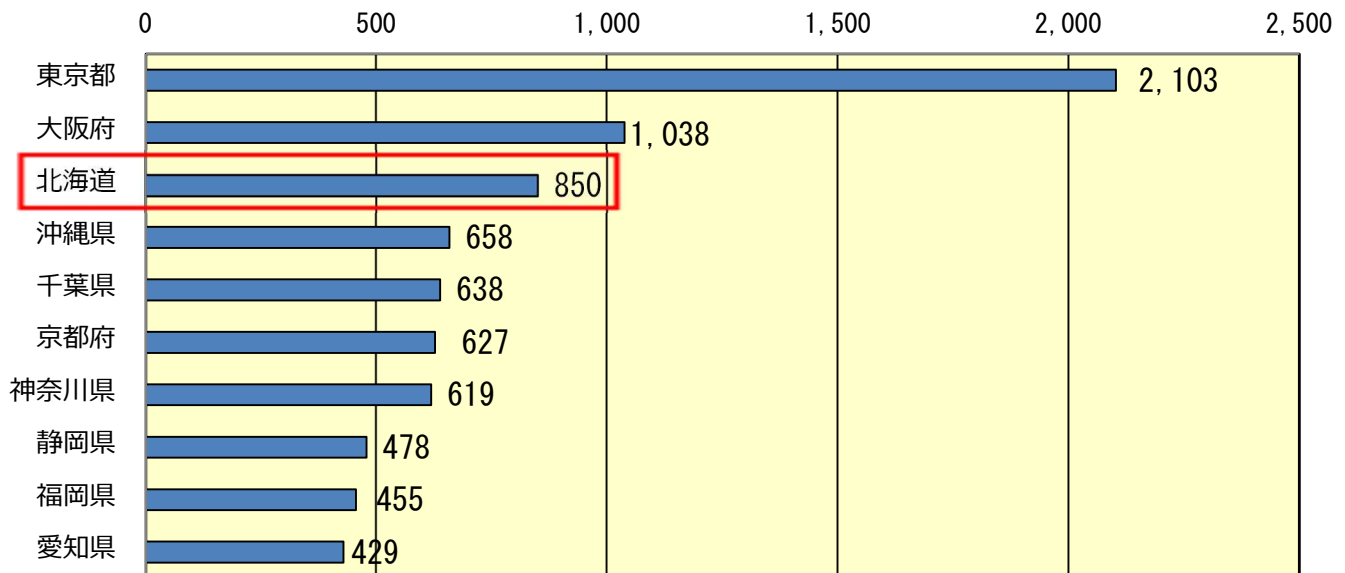
(単位:約万人泊)

延べ宿泊者数の推移（北海道）



(単位:約万人泊)

都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）



2. 外国人延べ宿泊者数

【外国人延べ宿泊者数】

- ・全国は約1,954万人泊、北海道は約173万人泊（全国の8.8%）。

【外国人延べ宿泊者数の前年等比較】

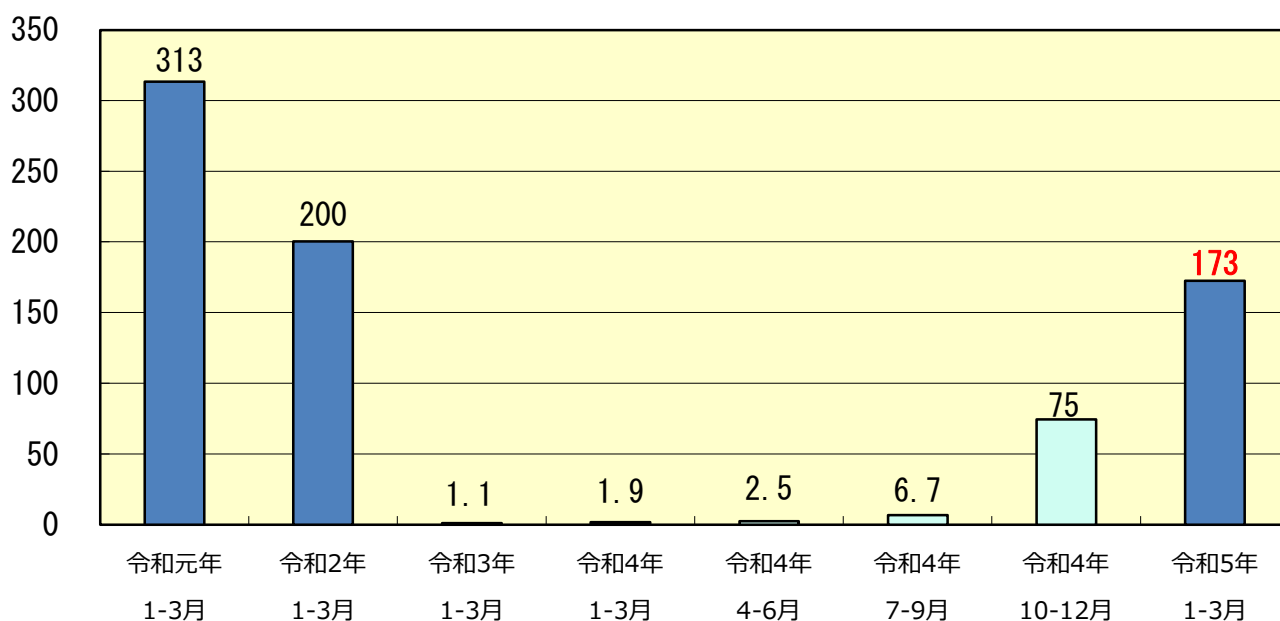
- ・全国は令和4年同期比2596.4%増、令和元年同期比30.2%減。
北海道は令和4年同期比9165.7%増、令和元年同期比44.9%減。
- ・令和5年1～3月期の外国人延べ宿泊者数は、全国及び北海道ともにコロナ禍前の令和元年同期値までの回復には至っていない。

【都道府県別外国人延べ宿泊者数】

- ・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（前年同期 第9位）。

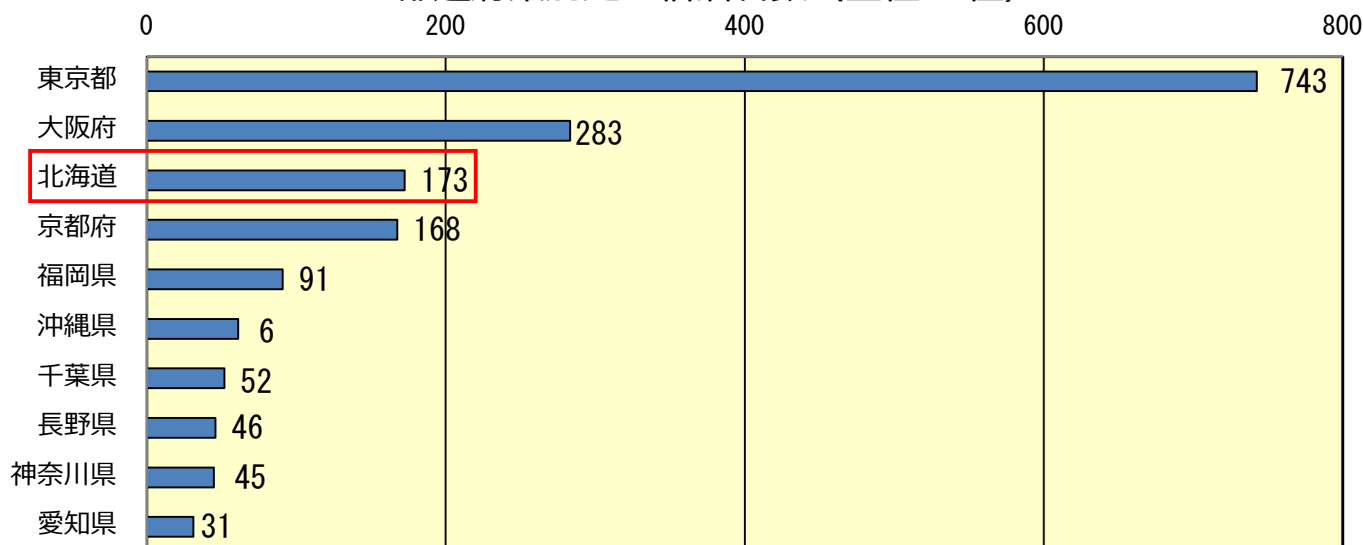
延べ宿泊者数の推移（北海道）

（単位：約万人泊）



（単位：約万人泊）

都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

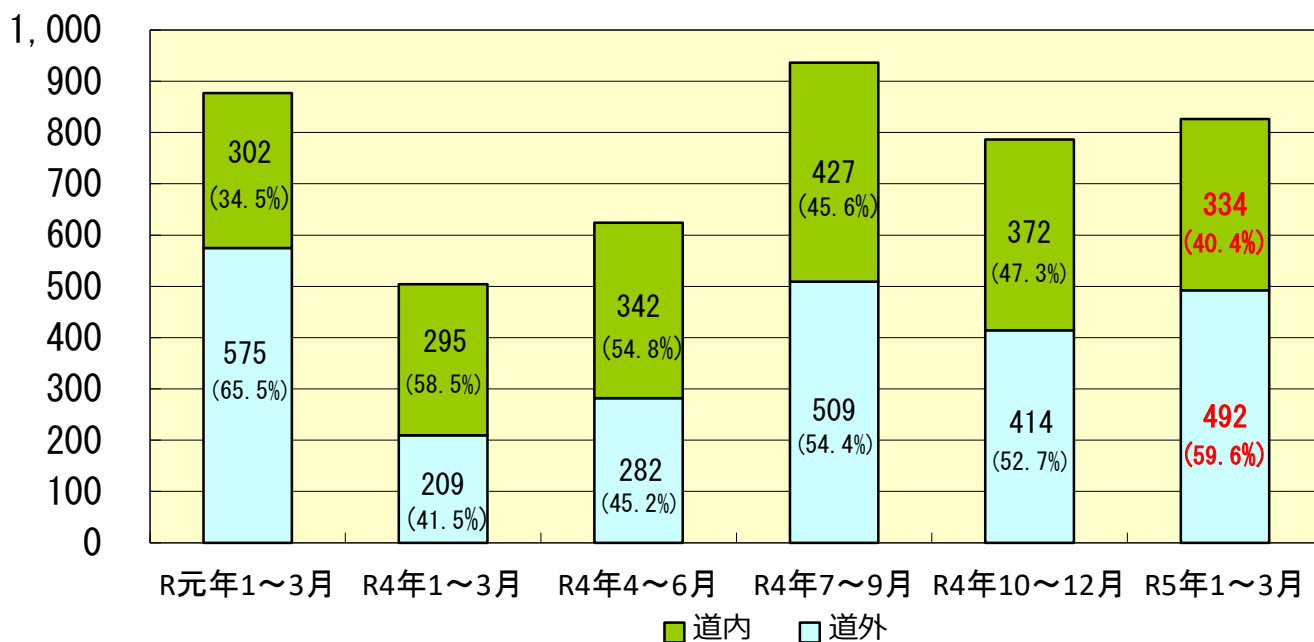


3. 道内・道外からの延べ宿泊者数

- ・道内からの延べ宿泊者数は約334万人泊、道外（外国人を含む）からの延べ宿泊者数は約492万人泊。道内及び道外の延べ宿泊者数の割合は、道内40.4%、道外59.6%となっている。
- ・コロナ禍前の令和元年同期値と比べて、道内からの延べ宿泊者数は10.5%増、道外からの延べ宿泊者数は14.4%減となった。

道内、道外からの延べ宿泊者数の推移

(単位：万人泊)

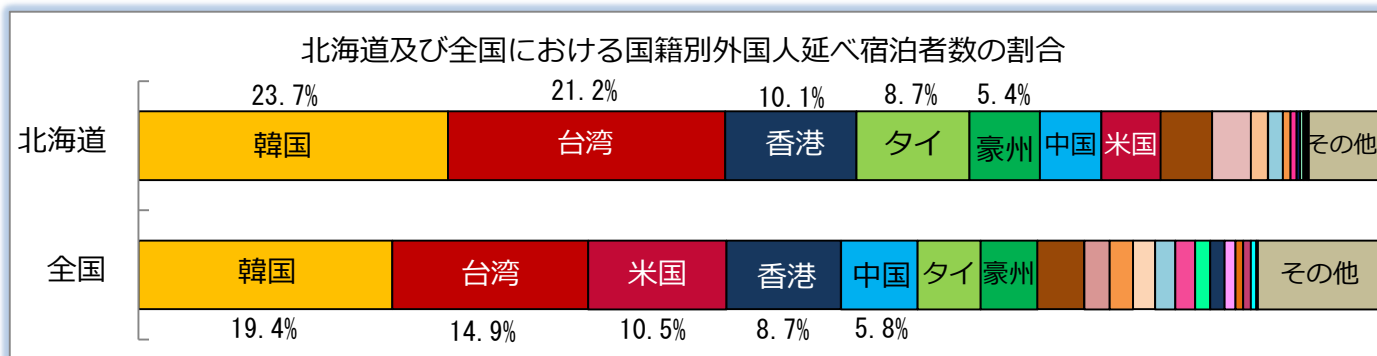


注：グラフの数値は居住地不詳者を除いているため、延べ宿泊者数の合計の数値と一致しない。

4. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数

・北海道における令和5年1～3月の国籍（出身地）別延べ宿泊者数は1,553,500人（令和元年同期比45.4%減）となり、第1位は韓国、第2位は台湾、第3位は香港となっている。

順位	国籍	北海道		全国	北海道
		(人泊)	シェア	シェア	令和元年同期比
1	韓国	368,860	23.7%	19.4%	-10.3%
2	台湾	330,090	21.2%	14.9%	-23.9%
3	香港	156,500	10.1%	10.5%	-25.6%
4	タイ	134,650	8.7%	8.7%	-35.0%
5	オーストラリア	83,570	5.4%	5.8%	-46.6%
6	中国	73,530	4.7%	4.8%	-91.0%
7	アメリカ	70,750	4.6%	4.3%	-16.8%
8	シンガポール	61,130	3.9%	3.6%	-18.5%
9	マレーシア	46,320	3.0%	1.9%	-24.8%
10	インドネシア	20,230	1.3%	1.8%	-32.0%
11	フィリピン	17,510	1.1%	1.7%	-31.2%
12	イギリス	9,400	0.6%	1.5%	-43.9%
13	カナダ	7,210	0.5%	1.5%	-30.9%
14	フランス	4,090	0.3%	1.2%	-34.5%
15	ドイツ	3,920	0.3%	1.1%	-32.8%
16	ベトナム	1,920	0.1%	0.8%	-20.7%
17	インド	1,600	0.1%	0.6%	-8.6%
18	イタリア	1,200	0.1%	0.6%	-9.8%
19	スペイン	940	0.1%	0.4%	-45.7%
20	ロシア	700	0.0%	0.1%	-91.5%
	その他	86,770	5.6%	5.1%	-46.3%
	国籍不詳	72,610	4.7%	9.4%	-35.2%
	合計	1,553,500	100%	100%	-45.4%



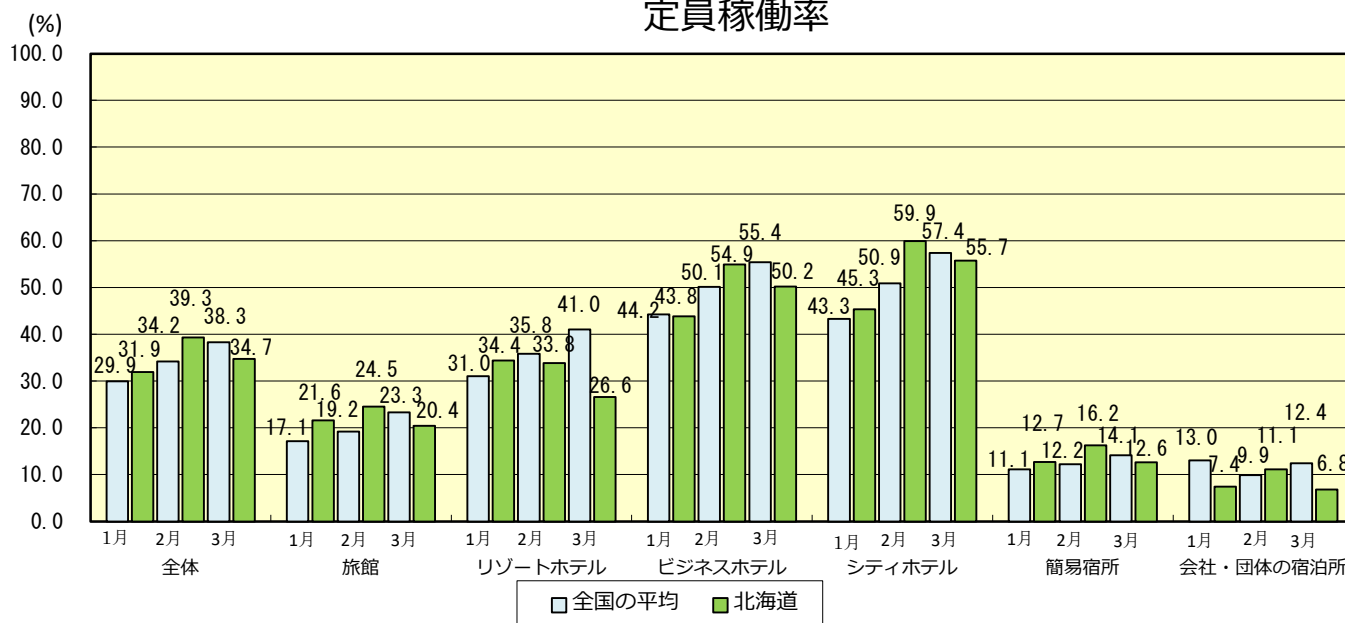
※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計している。

5. 定員稼働率及び客室稼働率

【定員稼働率】

- ・北海道の定員稼働率（全体）は、1、2月において全国平均を上回っている。
- ・施設タイプ別では、1月はビジネスホテルと会社・団体の宿泊所を除く全ての施設タイプにおいて定員稼働率が全国平均を上回っている。
- ・2月はリゾートホテル以外の全ての施設タイプにおいて定員稼働率が全国平均を上回っている。
- ・3月は全ての施設タイプにおいて定員稼働率が全国平均を下回っている。

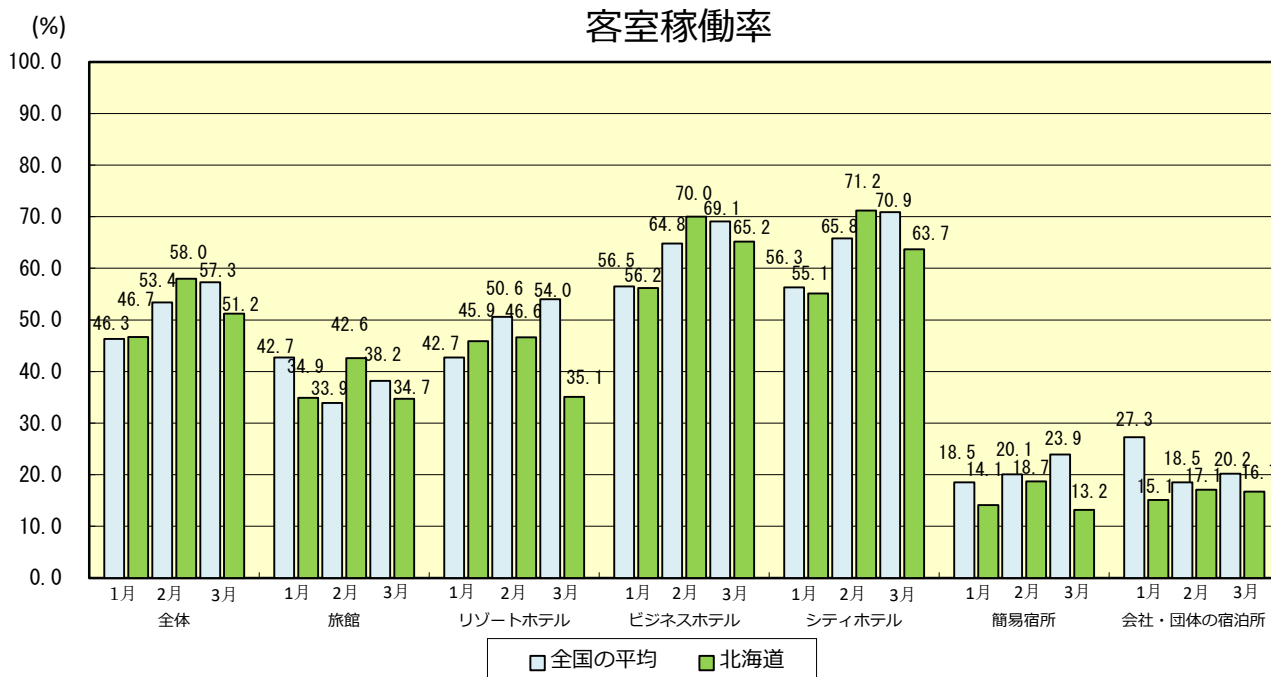
定員稼働率



【客室稼働率】

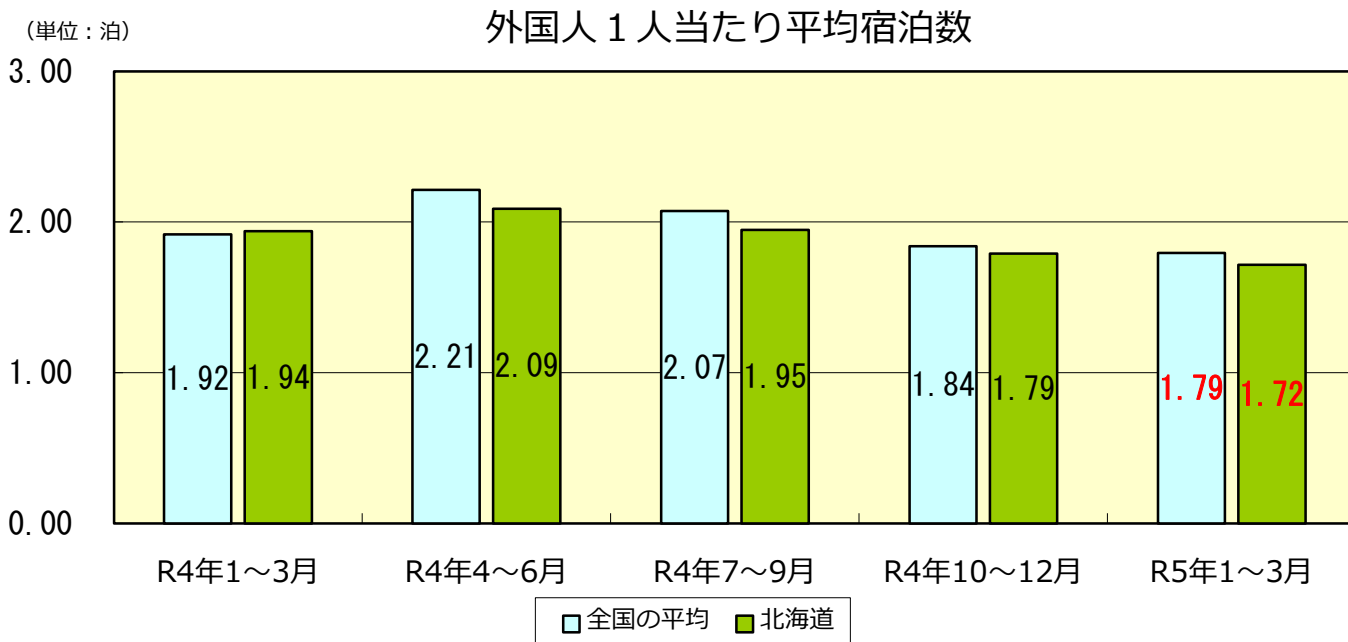
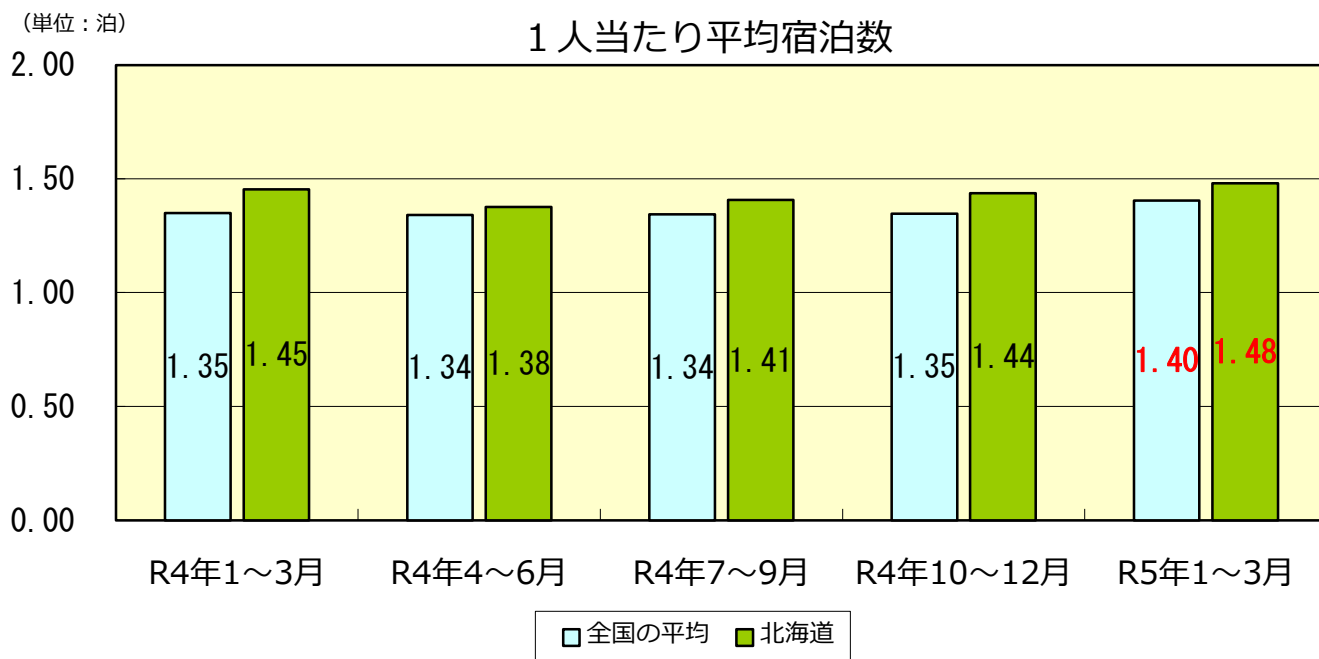
- ・北海道の客室稼働率（全体）は、1月および2月において全国平均を上回っている。
- ・施設タイプ別では、1月のリゾートホテル、2月の旅館とビジネスホテル、シティホテルにおいて客室稼働率が全国平均を上回っている。
- ・3月は全ての施設タイプにおいて客室稼働率が全国平均を下回っている。

客室稼働率



6. 同一施設における1人当たり平均宿泊数

- ・同一施設における1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.40泊、北海道1.48泊となった。
前年同期と比較すると全国は0.05ポイント増加、北海道は0.03ポイント増加となった。
- ・同一施設における外国人1人当たり平均宿泊数は、全国平均1.79泊、北海道1.72泊となった。
前年同期と比較すると、全国は0.13ポイント減少、北海道は0.22ポイント減少する結果となった。



宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4~6月調査)から、従業員数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

● 遡及推計(確定値)とは

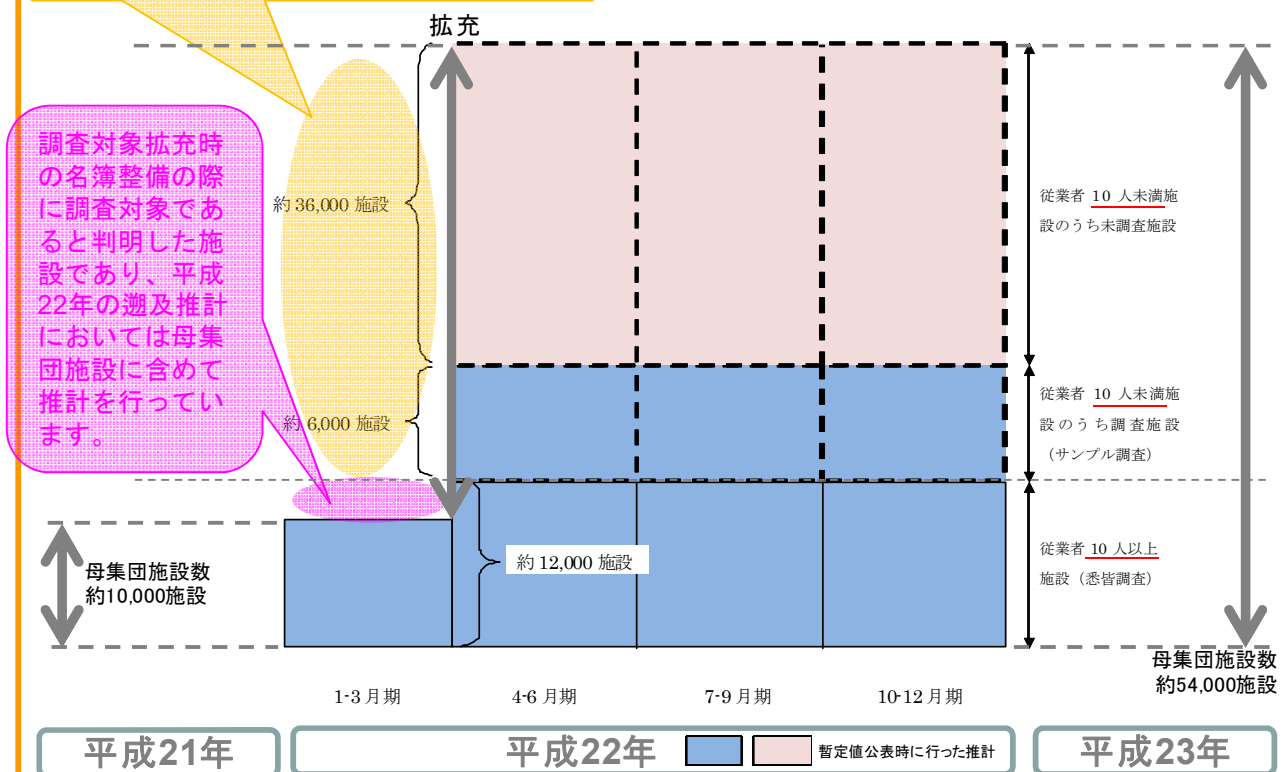
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業員数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っていません。経年比較等する場合には、従業員区分等にご注意下さい。

遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設:平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業員数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果:全国の従業員数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査

(1) 調査対象施設:統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業員数に応じて以下のとおり

- 従業員数10以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業員数5人~9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業員数0人~4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果:全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値